

令和7年度 美咲町立柵原学園 キャリア教育全体計画

赤色:重点育成能力

学校教育目標	キャリア教育目標
ふるさと柵原を愛し、心豊かにたくましく 主体的に学ぶ子どもの育成	一人一人が、自己の特性・能力について自己理解を深め、伸ばしながら 自分に誇りをもち、自らの生きがい求めて将来を切り拓く力を養う。

キャリア教育で身に付けたい能力(基礎的・汎用的能力)			
自己理解・自己管理能力(自立) A <input type="checkbox"/> ①自己の役割 ②前向きに考える力・主体性 ③忍耐力	課題対応能力(探究) B <input type="checkbox"/> ④情報理解選択処理 ⑤本質理解、原因の追求 ⑥課題発見、計画立案実行 ⑦評価・改善	人間関係形成・社会形成能力(協働・共生) C <input type="checkbox"/> ⑧他者理解 ⑨働きかけ ⑩コミュニケーションスキル ⑪チームワーク ⑫リーダーシップ	キャリアプランニング能力(創造・貢献) D <input type="checkbox"/> ⑬「学ぶ働く」意義・役割理解 ⑭多様性の理解 ⑮将来設計・選択、行動と改善(PDCA)
①自分が、できること・意義を感じる・したいことについて、社会と相互関係を保つ力 ②今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき、主体的に行動する力 ③失敗してもあきらめず、困難なことにも辛抱強く挑戦したり、粘り強く学んだりする力	④集めた情報について理解したり選択したりして適切に処理する力 ⑤出来事や物事について理解を深めたり、因果関係を調べようとする力 ⑥学習や多様な取組をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立て、その課題を処理し、解決することができる力 ⑦評価の観点に従って自ら評価したり、相手に応じて適切な方法で伝えることができる力	⑧他者の多様な個性や立場、考えを理解することができる力 ⑨他者の立場や考えを尊重し、自らの考えを伝えたり協力・協働したりする力 ⑩多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる力 ⑪課題解決に向け、他者と協力・協働して社会に参画する力 ⑫他者の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会形成に積極的にかかわることができる力	⑬地域社会に学び、自らが果たすべき様々な立場や役割を踏まえて、学ぶこと・働くことの意義を考えることができる力 ⑭多様な生き方に関する様々な情報を多面的多角的に理解する力 ⑮生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断して将来へ向かうキャリアを形成(進路選択)していく力

学年部の具体的な指導目標			
後期98年 ①自己の適性に合った職業について考え、将来の生き方に関心をもつ。 ②自分の個性や適性に気づき、自分らしさを発揮することができる。 ③失敗してもあきらめず、困難なことにも辛抱強く挑戦したり、粘り強く学んだりできる。	④必要な情報について理解したり選択したりして適切に処理することができる。 ⑤出来事や物事について調査したり、資料やPCを使って理解を深めたりして、因果関係を調べることができる。 ⑥自らの生活や将来設計について課題意識をもち、その実現方法を考え、計画的に取り組むことができる。 ⑦学習や多様な取組を進めるうえで様々な課題を発見し、自分なりの計画や方法で課題解決に取り組む評価の観点にしたがって改善を進めることができる。	⑧多様な個性や立場、考えを理解することができる。 ⑨他者の立場や考えを尊重し、自らの考えを伝えたり協力・協働したりすることができる。 ⑩多様な考えや立場を理解し、自分の考えを他者に分かりやすく伝えることができる。 ⑪自他のよさに気づき、他者と協力・協働して課題に取り組むことができる。 ⑫リーダー学年として下学年の個性や考え方を尊重しながら、課題解決に向けてリードすることができる。	⑬学校や地域での様々な体験活動や学びについて、自己の生き方に対する考えや社会生活に必要な能力等の視点からその意義や役割について理解する。 ⑭地域社会に学び、自らが果たすべき様々な立場や役割を踏まえて、学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 ⑮地域社会を活性化するためのアイデアや貢献策の提案、実行等の活動を通して、自己の進路や生き方を考え、進路実現のための計画を立てることができる。
中期765年 ①自分の特性を客観的に捉え、自分らしさを発揮しようとする。 ②自分のよさに自信をもち、自分でできることやしたいことについて進んで行動しようとする力がある。 ③好きでもないことや苦手なことでも、自分で立てた目標を意識し見直しを立て、努力を続けることができる。	④地域の方の話や資料・インターネット等から必要な情報を集めることができる。 ⑤体験したり調べたりして理解したことをもとに原因を分析することができる。 ⑥自ら課題の解決を進め、解決の結果を基に新たな課題を設定して、取り組もうとする。 ⑦目的や相手に応じて、評価したことをまとめ、伝え方を工夫して伝えることができる。	⑧友達の立場や考えを理解することができる。 ⑨思いやりの気持ちを持ち、相手の立場に立って考えを伝えようとする。 ⑩他者の考えをよく聞いて、自分の伝えたい考えを分かりやすく相手に伝えることができる。 ⑪自他のよさに気づき、よい人間関係を築こうとする。 ⑫上学年は下学年の考え方をしっかりと聞いて尊重し、課題解決をリードすることができる。	⑬「働くこと」の意義や重要性を知り、多様な生き方に関する様々な情報を理解しようとする力とともに将来の夢や目標を持つことができる。 ⑭地域のために進んで様々な地域活動に参加し、地域貢献の活動を体験することができる。 ⑮身近な地域産業や職業について体験的に学び、働くことの尊さや苦勞を知り、将来の生き方について考えることができる。
前期43年 ①自分の好きなことや嫌なことがはっきりといえたり、自分の良いところを見つけたりすることができる。 ②自分ができるようになったことに気づき、自分の力を生かそうとすることができる。 ③好きでないことや、自分でやろうと決めたことは根気強くやり遂げることができる。	④⑤地域の方や資料等から必要な情報を集め、調べて分かったことをノートなどにまとめることができる。 ⑥体験したり調べたりしたことから課題を見つける。解決方法や手順を選択して、活動を進めることができる。 ⑦伝えたいことを伝えたい相手にわかるようにまとめ、発表することができる。	⑧友達のよさを見つけたり、色々な考え方を認めることができる。 ⑨友達のよさに気づき、認め合ったり励まし合ったりできる。 ⑩自分の意見をもち、みんなにわかりやすく伝えることができる。 ⑪友達と一緒に楽しく活動し、協力しあうことができる。 ⑫友達と仲良くでき、進んで助け合うことができる。	⑬集団で活動するために大切なことを考えることができ、役割や役割分担の大切さが分かる。 ⑭地域のいろいろな活動に進んで参加しようとする。 ⑮地域のために働いている人がいることを知り、それらについて進んで学ぼうとする。
前期21年 ①自分のよさを見つけることができる。 ②自分が好きなことややりたいことを見つけることができる。 ③好きなことややりたいことを最後までやりとげることができる。	④分かったことやできたことを発表することができる。 ⑤⑥興味関心をもって色々なことを観察し、質問したり調べたりすることができる。 ⑦体験的な学習によりわかったことを、身近な人と伝え合うことができる。	⑧友達には色々な考え方がわかる。 ⑨困っている友達を誘うことができる。 ⑩自分の考えをみんなにはっきりと話すことができる。 ⑪みんなで一緒に楽しく活動することができる。 ⑫友達と仲良くでき、進んで助け合うことができる。	⑬係や当番活動や家での仕事を進んで行うことができる。また人や地域と関わる楽しさがわかる。 ⑭色々なことに興味をもったり色々な仕事があることに気づく。 ⑮みんなで活動する楽しさがわかり、進んで交流しようとする力がある。

教科・領域等におけるキャリア教育指導目標			
教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間
(自立) ◇課題解決に向けて学習形態を工夫し、生徒自ら考えたり判断したりする力を養う。 (探究) ◇学習の課題を発見・分析し適切な計画を立て、その課題を処理する。 (協働・共生) ◇相手の考えを聴いて、自分の意見を理由や根拠を明確にして伝える力を養う。 (創造・貢献) ◇学び合いや、協力して課題解決をする学習を通して、思考力や表現力の向上を図る。	(自立) ◇個性を伸ばして充実した生き方を追求しようとする態度を育てる。 (探究) ◇郷土の発展について課題意識をもち、実現のために貢献しようとする気持ちを育てる。 (協働・共生) ◇友達のよさを認め、互いに助け合い、感謝の気持ちを大切にできる態度を育てる。 ◇自分が属する様々な集団の意義について理解を深め、役割と責任を自覚し、集団の生活を向上させていく力を養う。 (創造・貢献) ◇勤労の尊さや意義、喜びに気づき、理解しようとする態度を養う。	(自立) ◇自己及び他者の個性を理解、尊重し、社会の一員として自覚させ、責任感を醸成する。 ◇成就感・自己有用感を高める。 (探究) ◇異学年との活動を通して協力性を育み、多様な集団の生活の向上を図る。 ◇活動を通して身近な問題解決を図る力を養う。 (協働・共生) ◇望ましい集団生活や体験的な活動を通して、仲よく助け合って楽しく生活する態度を身に付ける。 ◇自ら考え自発的な集団活動を行い、自主的実践的態度や人とかかわる力を身に付ける。 (創造・貢献) ◇社会的・職業的自立に向けて必要な能力や態度を育成する。	(自立) ◇探究的な学習を通して自分の特徴やよさを理解するとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。 (探究) ◇学習や多様な取組をする上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立てて、その課題を処理し、解決しようとする。 (協働・共生) ◇自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとする。 (創造・貢献) ◇進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組むとともに積極的に地域の活動に参加しようとする。

各教科におけるキャリア教育育成の指導目標

キャリアの能力	自己理解・自己管理能力（自立） ①自己の役割 ②前向きに考える力・主体性 ③忍耐力	課題対応能力（探究） ④情報理解選択処理 ⑤本質理解、原因の追求 ⑥課題発見、計画立案実行 ⑦評価・改善	人間関係形成・社会形成能力（協働・共生） ⑧他者理解 ⑨働きかけ ⑩コミュニケーションスキル ⑪チームワーク ⑫リーダーシップ	キャリアプランニング能力（創造・貢献） ⑬「学ぶ働く」意義・役割理解 ⑭多様性の理解 ⑮将来設計・選択、行動と改善（PDCA）
国語	「読むこと」 ・文章を読んで人、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつ。	「話すこと・聞くこと」 ・資料などを活用して説得力のある話をする。	「話すこと・聞くこと」 ・場の状況や相手の様子に応じて話すとともに、敬語を適切に使う。	「書くこと」 ・社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫する。
社会	・日本と世界の諸地域、都市部と農村部など地理的特色をとらえる上で、様々な視点があることに気付く。 ・身近な地域の歴史など様々な視点から歴史をとらえる。また、歴史的な事象や歴史上の人物のつながりをとらえる。 ・自由と権利、責任と義務の関係について理解し、現代社会の仕組みについて考える。	・統計資料や地図を比較・関連させることについて、資料の読解力や読図力、作図力を身に付ける。結果を主題図やグラフにまとめる。 ・年表を使って時代の流れをまとめ、歴史的な事象の背景などを解釈し、歴史的な事象の原因や結果を自分の言葉でまとめる。 ・様々な社会事象の仕組みを理解し、より良い在り方について考える。	・現代社会の課題とその解決策について話し合い、課題追究の中で様々な意見を取り入れ考えを深める。 ・地域の一員として地域の課題に取り組み、自分なりの解釈を加えての論述や意見交換をする。 ・郷土の施設の活用や地域の人々とのふれあいをもち。	・歴史上の人物の生き方について自分と比較して考える。 ・社会生活の様々な仕組みや現代社会の課題について理解し、身近な生活や自分の将来と結び付けて考える。
算数・数学	・数学的活動を（基本的に問題解決の形で行う）粘り強く考え抜くことで、成就感や達成感などを得て自信を高め自尊感情をはぐくむ。	・中学第1学年における文字の学習により、連立二元一次方程式（第2学年）、次方程式（第3学年）などの手段を得、考察の対象が広がるとともに、様々な事象の本質的な関係をより簡潔かつ明瞭にとらえることができるようになる。	・数学における「説明し伝え合う活動」で問題を考察する際、他者に説明し伝え合いながら学習を進め、一人では気付かなかった新しい視点が得られたり、考えを質的に高めたりする。	・図形や空間の学習では、中学第1学年で論理的な考察と論証及びそれを表現することへの関心や意欲を高め、第2学年で、論理的に筋道を立てて正しい推論ができるようになる。第3学年では、図形に対する直観力や洞察力とともに論理的に考察し表現できるようにする。
理科	・物質やエネルギーに関する事象・現象について、また、生物とそれを取り巻く自然の事象・現象について、主体的に進んで学ぼうとする。 ・自己の役割を理解し、主体的に観察・実験に取り組む。	・自然の事象・現象に疑問を見出し、課題を設定し、計画を立てて課題を解決する。 ・自然の事象・現象に関する探究的活動を行い、分析・解釈して科学的に解決したり、自然の事象・現象に関する様々な情報を収集・理解して課題解決に活用する。	・他者と協力・協働して、グループで観察・実験を行う。 ・実験レポートの作成や発表、観察記録のまとめの発表により、互いの考えを理解し合う。	・科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め、科学的に考えていこうとする。また、生命を尊重する心情をはぐくむとともに、自然環境を大切に、その保全に寄与した生き方をしていこうとする等、理科で学んだことや科学的な考え方が様々な職業や社会生活、その後の学習と関連していることを理解し、自らの生き方に生かす。
音楽	・声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌ったり、演奏したりする。 ・音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わう	・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌ったり、演奏したりする。 ・表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくる	・声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌ったり、演奏したりする。 ・音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わう。 ・音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞する。	・我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞する。
図工美術	・材料や用具、表現方法の特性を効果的に活用するために、制作の順序や見通しをもって表現する。 ・制作の見通しをもちながら自分の表現意図に合う独創的な表現方法を工夫して表現する。	・生徒一人一人がイメージを広げ、表したい主題を形や色彩、材料などを客観的な視点をもって効果的に活用できるように構想を練る。	・感じ取った作品の良さや美しさなどの価値について、根拠を明らかにして自分の考えを述べたり、生徒同士で批評したりして、自分の気付かなかった作品の良さを発見する。 ・社会性や客観性を一層意識し、目的や条件、機能などを広い視野で総合的にとらえる。 ・内面や全体の感じ、価値や情緒などを感じ取り、外形には見えない本質的な良さや美しさなどをとらえる。	・作者を取り巻く芸術の潮流や人間関係など一人の人間として人間性や生き方に触れるなどとする。 ・美術を生活や社会、歴史などの関連で見つめ、自分の生き方とのかかわりについてとらえ、鑑賞を深める。 ・主題に基づきながら作品の背景を見つめたり、自分の生き方とのかかわりについてとらえたりする。
体育	・運動を通して、人の体や心の状態には個人差があることを把握する。 ・自己の体調の変化に気を配ったり、用具や場所の安全に留意したりする。 ・自己の体調の変化に応じて段階的に運動をしたり、用具や場所の安全を確認したりする。 ・健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選ぶ。	・自己の課題に応じて、学習する技の合理的な動き方について改善すべきポイントを見付ける。 ・自己の課題に応じて、適切な練習方法を選ぶ。 ・提供された作戦や戦術から、自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選ぶ。 ・仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘する。	・審判の判定や勝敗の結果を受け止め、ルールやマナーを守ることや自分のことだけでなく共に学ぶ仲間に対して必要な支援をすることに積極的な意志をもつ。 ・話し合いなどでグループの学習課題等についての意思決定をする際に、相手の感情に配慮して発言したり、仲間の意見に同意したりしてグループの意思決定に参画する。	・様々な運動において実生活で継続しやすい運動例を選ぶ。 ・運動を継続して楽しむための自己に適したかかわり方を見付ける。
保健	算数+B22:E23数学	・身体機能の発達や発育。 ・発達の個人差などについて理解する。 ・精神機能の発達と自己形成、欲求やストレスへの対処と心の健康などについて理解する。	・生活行動・生活習慣と健康、喫煙・飲酒・薬物乱用と健康、感染症の予防などについて課題を発見し、解決方法を考える。 ・交通事故や自然災害による傷害の防止等の方策について考える。	・保健・医療機関の有効活用、個人の健康を守る社会の取組などについて理解を深める。
技術	・緻密（ちみつ）さへのこだわりや忍耐強さを育てる。 ・技術を適切に評価し活用しようとする。	・目的や条件に応じて設計・計画できる。 ・情報手段を主体的に選択し活用する。 ・技術の適切な評価・活用について考える。	・技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割や、環境との関係について考える。 ・情報モラルについて考える。	・技術にかかわる倫理観や新しい発想を生み出し活用しようとする態度をはぐくむ。 ・職業観や勤労観をはぐくむ。
家庭	・より良い家族・家庭や社会（の生活）をつくるために、現在自分ができていることを見直し、さらに必要な力をつけて生活に役立てようとしている。	・生活を見直し、課題をもって活動を工夫し、計画を立てて実践する。	・家族や社会の一員としての自覚や役割をもつ。 ・周囲の人々とのかかわりや人間関係の大切さを理解する。	・家庭や地域で実践する意義に気付く。 ・家庭や社会の一員として、自己実現に向けて生活の自立をめざす。 ・環境に配慮した消費生活について工夫し実践する。
英語	「聞くこと」 ・質問や依頼などを聞いて適切に応じること。 「読むこと」 ・伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し、適切に応じること。	「話すこと」 ・与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること。 ・つなぎ言葉を用いるなどの工夫をいろいろして、話を続けること。	「コミュニケーション」 ・外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、様々な考えや意見の中から、コミュニケーションを図れるような話題を取り上げる。 「聞くこと」 ・まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取ること。 「話すこと」 ・聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりすること。	「読むこと」 ・書かれた内容や考えなどをとらえること。 「書くこと」 ・感想、賛否やその理由を書いたりすること。 ・聞いたり読んだりしたことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。